

兵庫県立芸術文化センター（仮称） いよいよ平成17年秋オープン

このほど建設着工となつた、芸術文化センターについて、兵庫県芸術文化協会理事長であり、「芸術県ひょうごづくり」に情熱を傾ける栗原高志さんにお話を伺つた。



栗原高志さん
兵庫県芸術文化協会理事長

阪急、ニチイとも大打撃をうけ、バブル崩壊も伴つて状況は一変し、計画は無期延期せざるを得なくなつたのです。

その後、県民生活も落着きを取り戻し、いま一度芸術文化センター構想を進めようという気運が高まつてきました。舞台転換などの大掛かりな設備や、既存のホールとのネットワークでまかなえるものは、極力省こうということになり、当初計画を大幅に見直し、予算も思い切つて削減し、設計もやり直しました。

そしてこのたび、ようやく入札の結果、大成建設を中心とする7社のジョイントベンチャーカが決まり、平成14年秋に着工の運びとなつたわけです。

この新しい芸術文化センターがもつ役割を教えてください。

震災から10年目の平成17年秋にこの画期的な事業が完成することには、重要な意味があります。私

たいへん大きなプロジェクトを軌道にのせるために、どのようなご苦労があつたのでしょうか。

平成元年ごろ貝原前知事の頃から、教育文化都市である西宮に、阪神文化の拠点となるような舞台芸術の拠点、芸術文化センターを作ろうという構想が始まりました。用地は阪急電鉄と当時の二子山から無償で借りることになつて、設計者もプロボーザルで日建設計の寺本氏に決定してしまつた。当初の計画は劇場とホテルとショッピングモールを合築する巨大な複合施設で、平成7年1月には予算の知事査定をあおぐ段階まで來ていたのです。しかしその直後に、大震災があり県はもとより、

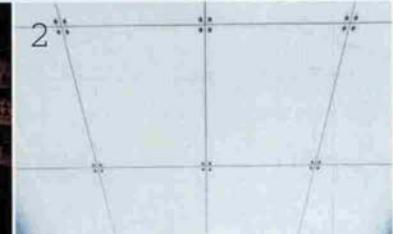
たちは、震災の教訓として文化・芸術の大切さを改めて認識しました。傷ついた心を癒し、感動と勇気を与える、生きる喜びをもたらすものが、それが文化・芸術のすばらしさです。芸術文化センターは、そんな心の拠りどころとなる復興と希望の拠点をめざしています。

現在、芸術監督に演劇の山崎正和氏、音楽の佐渡裕氏をお願いし、その後の通常公演計画を進めています。

また、佐渡芸術監督を中心付属交響楽団構想の具体化を進めており、実力ある若手のコアメンバーと、超一流の登録メンバーによるユニークな楽団編成によつて、兵庫の地から日本と世界にオリジナリティ豊かな音楽文化を発信していきたいと思つています。

素敵な舞台芸術との出会いと、夢と感動のひとときを期待していって下さい。

（未完）



①自然採光を確保した開放的な空間構成でパブリックシアターにふさわしい端正な建築デザイン

②インフォメーション機能を備えた2階の共通ロビー

③大ホール（2000席）音楽ホールとして最高の水準をめざすとともにオペラ・バレエにも対応（コンサートイメージ）

④大ホールでのオペラ上演イメージ

⑤大ホール・ホワイエ

⑥中ホール（800席）演劇を中心にミュージカル伝統芸能などにも対応

⑦小ホール（400席）客席と舞台の一体感が魅力。室内楽に適したアリーナ形式のホール



ひょうごインビテーション
フランス国立
リヨン・コンセルバトワール
室内管弦楽団



2003年2月25日(火)
18時30分開演(18時00分開場)

神戸新聞松方ホール 全席自由席
(JR神戸駅より南へ徒歩10分)

Program

ラヴェル／組曲「クーブランの墓」
イベール／フルート協奏曲
(独奏: フィリップ・ベルノルド)
ドビュッシー／神聖な舞曲と世俗的な舞曲
(独奏: 松村衣里)
モーツアルト／交響曲第41番(ジュピター)
ハ長調K.551

■出演者

指揮: ベーター・チャバ
管弦楽: リヨン・コンセルバトワール
室内管弦楽団

■入場料

大人 2,500円
大学生以下 2,000円(前売、当日とも)

■お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス
TEL 078-333-3399(10:00~17:00土日祝休)
神戸新聞松方ホール TEL 078-362-7191

表演芸術ワークショップ
日本の雅楽とインド音楽



2003年2月14日(金)
18時30分開演(18時00分開場)

西宮プレラホール 全席自由席
(阪急西宮北口駅南 プレラにしのみや5F)
TEL0798-64-9485

Program

(1) インド音楽のリズム
様々なターラ(リズムサイクル)のデモンストレーション、タブラー独奏鑑賞
(2) 雅楽のリズム
雅楽のリズムのデモンストレーション、天竺楽の一種の実演
(3) インド音楽と雅楽の実験的共演
(1)と(2)で紹介したリズムを用いた合奏を試みる

■出演

クル・ブーシャン・バールガヴァ(タブラー)
藤井千尋(ハルモニアム)
天理大学雅楽部
佐藤浩司(解説)
中川博志(解説、タンブーラー)

■入場料

(前売り) 一般 1,800円
高校生以下 1,000円
(当 日) 各300円増し

■お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス
TEL 078-333-3399
(財) 西宮市文化振興財団
TEL 0798-33-3111

阪神文化ネットワーク事業
日芸会館と阪神文化



善竹 隆司



善竹 隆平

2003年2月3日(月)
14時開演(13時30分開場)

西宮プレラホール 全席自由席
(阪急西宮北口駅南 プレラにしのみや5F)
TEL0798-64-9485

Program

第1部
トーク「日芸会館・見果てぬ夢」
(スライド上演含む)

第2部
大蔵流狂言「夷毘沙門」
(西宮神社ゆかりの狂言)

■出演者

バネリスト: 上田拓司(能役者)
吉田文雀(文雀人形遣い)
清元延柳(邦楽清元) ほか
コアティナー: 河内厚郎
狂言: 善竹隆司、善竹隆平 ほか

■入場料

前売り 2,300円 (当日2,600円)

■お問い合わせ
芸術文化センターチケットオフィス
TEL 078-333-3399
(財) 西宮市文化振興財団
TEL 0798-33-3111

～ひろげよう、交流の輪～ ひょうご国際プラザ

◆国際情報センター

10数カ国の新聞・雑誌の閲覧、国際交流などに関する1万冊以上の図書の貸出、インターネットなどが無料で利用でき、世界の様々な情報を入手できます。

◆交流ホール/交流ギャラリー

会議やセミナーなど多目的にご利用できます。

◆NGO活動支援室

印刷機などを備え、国際交流・協力を目的とした団体の皆さんのが自由に利用できる活動の場です。



【利用時間】

月～金曜日 9:00～20:00 (土曜日17:00まで)
日曜、祝祭日、年末年始は休館

【住所・連絡先】

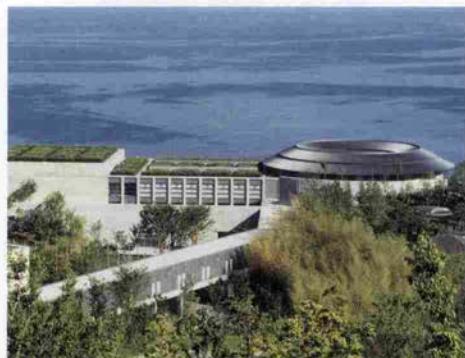
〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1
国際健康開発センター2階
(県立美術館西隣)
TEL:(078)230-3060 FAX:(078)230-3080
ホームページアドレス <http://www.hyogo-ip.or.jp>
Eメールアドレス hia@net.hyogo-ip.or.jp

花咲く島のリゾート&コンファレンスセンター

淡路夢舞台国際会議場

世界各国の大統領・首相経験者が集う「OBサミット」の開催実績もある当会議場は、都市型コンベンションセンターとは一線を画した中規模の国際会議場。ハイグレードな会議環境をリーズナブルな価格でご提供します。

隣接する「ウェスティンホテル淡路」宿泊料大幅割引制度もご利用いただけます。



【お問い合わせ・ご予約】

兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
〒656-2301 津名郡東浦町夢舞台1番地
TEL:(0799)74-1020 FAX:(0799)74-1021
ホームページアドレス <http://www.yumebutai.org>
Eメールアドレス info@yumebutai.org

神戸のお嬢さん

愛らしい明るい笑顔

十川 優子さん

(会社員)



優子さんは私どもの大切なお客様で、娘の友人でもあります。とても清楚でおちついたお嬢さんで、いつお会いしても明るい笑顔できつちりとお話され、たいへん好感のもてる方です。最近のお若い方にはめずらしくお着物がお好きで、すてきな着物を数多く持つておられ、上手に着こなされていてよくお似合いです。

お仕事もプライベートも充実されているようで、これからのご活躍を家族共々応援しております。

推薦者 三浦善信
株式会社ひめや代表取締役



神戸のお嬢さん

お料理大好きの才媛

三浦友加枝さん

(ホテル勤務)



友加枝さんは、ライオンズクラブの仲間である三浦さんのお嬢さんです。長い間の家族ぐみのおつきあいで、一緒に食事へ行つたりして仲良くしております。お料理がお好きで、調理師学校を卒業されてから飲食店にお勤めをされたり、家業の呉服屋のお手伝いをしながら着付け学校へ通われたりしていらっしゃいましたが、その後、自分探しのためにカナダへワーキングホリデーで一年間行かれ、去年の秋帰国されました。

今はホテルの調理部でお料理の腕をふるつておられます。スポーツジムや英会話にも通われ、毎日をエンジョイされてる様子です。

推薦者 池本昭三
株式会社パウリスタ代表取締役



サイドカーメーカーであつたスワロー社がオースティンセブンをベースにしたスボーツカーを1931年に作り始めた。その後美しいSS・100を1937年より作り、第二次世界大戦中は、飛行機等を作つていてたがその当時SSという名前であつたナチスのゲシュターボと同じ名前である事からウイリアム・ライオン社長はジャガー（アメリカカラ



神戸クラシックカークラブ会員の
自慢のクラシックカーが次々と登場します。
車の種類は玉石混合ですが、自分の車に
対する思い入れは金額に関係なくお宝です。
愛人のよう??

グラマーな ビックキャット

JAGUAR XK-120 スピードスター 1950年型

Espresso Bambino

いつまでも
少年のように



神戸のクラシックカー



素晴らしい眺めの高性能なエンジン

A man wearing a dark baseball cap with 'PDX' on it, sunglasses, and a light-colored polo shirt is driving a red convertible. He is looking towards the camera with a slight smile. The car is a classic model with a white interior and a black soft top. The background is a blurred green landscape, suggesting motion or a sunny day.

事にされ、クラシックカーイベントに優雅な姿を見る事ができる。又バーツは英

国及び米国の専門店で今でも容易に入手する事が出来
る。



東広野ゴルフクラブ 13番フェアウェイにて

SPECIFICATIONS		JAGUAR XK-120 スピードスター 1950年型
エンジン	DOHC 6気筒	
馬力	160-180HP. /5000rpm.	
トルク	195/203 165-FT 2500-4000rpm.	
ミッション	TRANSMISSION 4SPEED MANUAL	
サスペンション	FRONT DOBLE WISHBONE TORSION BARS. ANTI-ROLL BAR. REAR LIVE AXLE ONSEMI-ELLIPTIC LEAF SPRING	

ブレーキ	FRONT/REAR DRUMS.
ホイールベース	102.0 (Inch)
重量	2855 (LBS)
最高速	120+ MPH
	0-60 MPH-10.0 SEC.
生産台数	ROADSTER 7631台 COUPE 2678台 CONVERTIBLE 1768台

第5回ポンテベルレ2003
2003年5月10日(土)11日
(日)に第5回ポンテベルレ2003クラシックカーイベントが行われます。土曜日は正午に六甲アイランドからスタートし神戸市内を通り、淡路島、四国へ入り琴平で一泊。日曜日は、岡山、西脇セントラルを通り神戸へ帰ってくる予定で約100台のクラシックカーが全国より集まります。

笹山幸俊さんを囲む 感謝の集い暖たかく



今井鎮雄さんとの▼
対談風景(右上)

女優の由美かおる▲
さんもかけつけて
笹山夫妻と

矢田市長も新野先▶
生と共に

矢田市長から笹山▶
夫妻にメッセージ



三期十二年にわたり神戸市長を務められた笹山幸俊さんが退任された早くも一年。神戸大学土木工学部から神戸市役所に入つて半世紀、戦災復興と震災復興、いづれも神戸がゼロから立ち上がるまちづくりに、常に真摯に、薩摩男が苦労をいとわず、取り組んだ姿は、われわれ神戸市民の誇りといえよう。

このたび神戸市の名譽市民になられたお祝いもかねて、十二月七日(土)神戸ポートビアホテルにおいて「笹山幸俊さんを聞く感謝の集い」が開かれた。

第一部は、ポートビアホールで、今井鎮雄さんがインタビュアとなつて午後二時より対談。鹿児島時代の中学生が、河童好きだった話や、戦後、新開地で美空ひばりのファンだったことなど微笑ましく、お人柄がしのばれた。背の高い笹山さんは市役所のバスケットボールの選手で憧れる女性職員も多かつたとか。戦後復興にとりくんだおかげで、震災復興も、被災者支援の立場で陣頭指揮。後藤田さんが著書の中、笹山さんの顔つきを見るだけで現場を理解でき、言葉は少ないが街の復興に適切な仕事ぶりだったと評価されている。神戸空港をふんばつたのも、薩摩隼人の笹山さんなればこそと思う。第二部のパーティーで貝原元知事は、上京して私は政府交渉が多く、笹山さんは地元で街々を地をはつて頑張つたとメッセージ。暖かい雰囲気が流れる集いとなつた。

宮園貴江さんの功績をたたえ



(左上) 笹山幸後前市長・宮園先生と共に
(左下) 神戸マイスターの面々

(右上) 「春・すみれ」を唄うオープニング
(右下) 風かおるさんとシャンソン

春呼びおこす小さき花
可愛く春をささやくよう
心清らな乙女の心
春想うあまき恋
豊かな汝を育てる寿美礼
春すみれ

十二月十六日午後六時、シーサイド
ホテル舞子ビラ神戸三階舞子の間に、
宮園貴江さん作詞の「春・すみれ」が、
祝賀会のオープニングに、華やかなフ
ァッションで明るい歌声がお弟子さん
コーラスで流れ、ご本人登場。

家紋をモチーフにした帯を始めたの
は約二十年前、また平成襲を考案する
など伝統の着付に新しい技術を生みだ
すクリエイターだ。

平成五年に神戸マイスター制度を日
本で初めて作った前神戸市長・笹山幸
俊さんは、「宮園さんは同郷の薩摩おこ
じょ。神戸の伝統文化を育て、新しい
技術を生みだすベンチャーワーク精神は、初
代神戸マイスターとして今回の褒賞は
びつたりです」と。

鹿児島から、これからは美容の時代
と、乳児を見守る預けで神戸へ。日本花嫁
着付コンクールで銀賞を受け、後継者
を育てようと約三十年前、友人と着付
の研究会である、神戸ブライダル学校
と協会を設立。約二千人の後継者を送
り出した。国からは現代匠の名工とし
て卓越技能賞を。「桜島のもくもくと煙
を吐く、情熱と心意気で、現役として
もつともっと大爆発を」と荻坂市会議
員。風かおるさんとシャンソンも唄う
楽しそうな祝宴だった。

子供たちに伝える愛情

岡崎 晴彦 株式会社ファミリア 代表取締役社長

社名がフランス語で「家族」という意味でもあるように「伝える愛情いつまでも」という創業の精神を基本として、品位ある良質の子供用品の研究開発や、その製造を通じて社会に貢献することを経営方針としています。神戸っ子も、神戸の子供たちに伝える愛情いつまでも…。



神戸元町本店 TEL.078-321-2468

さんちか支店 TEL.078-391-2228

familiar

株式会社ファミリア 〒650-8505 神戸市中央区相生町 1-1-21

<http://www.familiar.co.jp>

お客様相談室 0120.078.345

500号の息吹を

下村 俊子 株式会社神戸風月堂代表取締役社長

敗戦後16年、震災前36年、すなわち1961年。神戸は、確かに若くて落ち着きのある活気に満ちていました。その都市空間のなかで、言葉をもって語りはじめられた御誌のみずみずしいご出発に心躍らせた記憶は新しいのです。500号の各ページから、その息吹が立ち昇りますように。



ゴーフル

GAUFRES

Since 1927



お客様の笑顔と共に歩み続けてきたゴーフル。 ゴーフル・オ・グーテ
この伝統を誇りに、これからもずっと おいしい時間を紡いでゆきたい…



神戸風月堂

〒650-0022 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL. (078) 321-5555

<http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>

食文化を通じて

酒井 敬補 株式会社ドンク代表取締役社長

500号発刊おめでとうございます。

昨年当社は法人設立50周年を迎えた。「高品質で安心・安全な商品の提供」を理念に、お客様の温かいご声援により成長して参りました。

お客様の食卓に「おいしい」を届けたい。食文化を通じて美味求心を心根とするメーカーを目指します。



We Serve The Best Quality

私たちは最高の品質を提供します



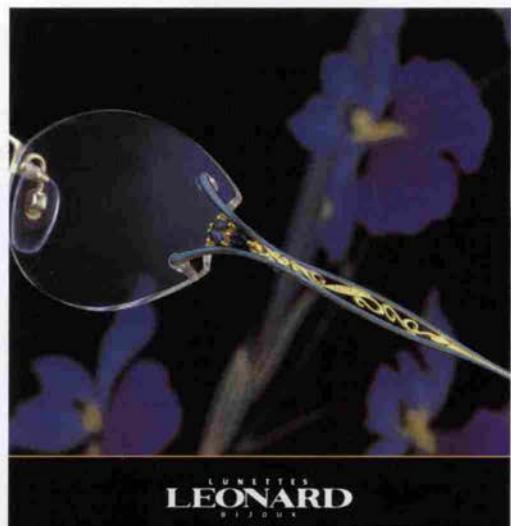
2002年4月、フランスで開催されたベーカリーワールドカップ「クープ・デュ・モンド・ド・ラ・ブーランジュリー」にて、日本代表チーム3名は見事、総合優勝の座を得、優勝トロフィーを日本に持ち帰りました。日本代表チームの一人、当社の製パン技術者、菊谷尚宏はバゲット&パン・スペシオ部門（フランスパン部門）を担当し、当社の伝承技術、そして菊谷の感性が發揮されたパンは高い評価を受けました。世界に日本のパンを通じての食文化が形成されたという事実が認められた、歴史に残る瞬間でした。

boulangerie DONQ française

1000号めざして

北出 彌一郎 株式会社服部宝生堂眼鏡店代表取締役

神戸っ子の500号達成をお祝い申し上げます。タウン誌として立派な業績は言うまでもないのですが、小泉編集長も発足当初は思ってもいられなかった500号を手にされて、その感慨はいかばかりでしょうね。この上は1000号をめざして新たな旅立ちを期待いたします。



めがねは夢のぞき窓

服部メガネ

神戸市中央区三宮町3-1-7
TEL.078-331-1123 駐車場完備

21世紀への創造力

藤田 稔 株式会社フットテクノ代表取締役社長

フットテクノは、自然と人間の共生を大切にしながら、ユニークなオンラインリーワンをめざす創造力で、足と靴の研究をするとともに、脳が活性化される「香りの健康法」を開発して参りました。月刊神戸っ子も日本のオンラインタウン誌に！



自然と人間の共生をめざす **フットテクノ**

神戸市中央区元町通5-2-8

TEL.078-351-1116 FAX.078-351-1090

<http://www.foottechno.co.jp> <http://www.kaorino-chikara.com>

地域の文化発展を

井植 貞雄 財団法人井植記念会理事長

財団法人井植記念会は、三洋電機㈱の創設者、故井植歳男の意思を受け継ぎ、昭和44年に設立されました。財団の様々な事業の中で、井植文化賞は文化振興事業の核として今年27回目を迎えます。その文化賞選考は月刊神戸っ子にお願いしており、今後も地域文化発展のために頑張っていきたいと考えています。



美しい自然に囲まれた 心のふれあいの場として



井植記念館



第26回井植文化賞受賞者の皆さん（井植記念館にて）

財団法人井植記念会

〒655-0873 神戸市垂水区青山台1丁目21番1号

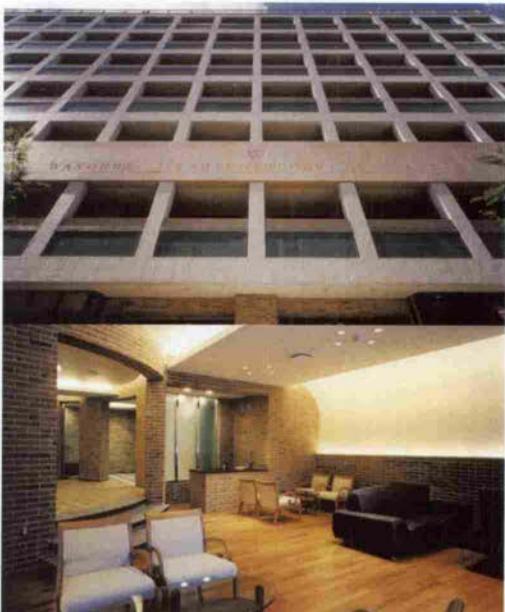
TEL.078-751-5216 FAX.078-751-7696

市井のための雑誌づくりを

瀬戸本 淳 建築家



『神戸っ子』は42年にわたる長い間、神戸の価値を再発見し、文化の価値、人々の価値を誌上対話の中から求めでこられました。これからも市井の、あるいは路地裏の庶民的な価値を再発見しながら、新たなまちづくりへの様々な提案を呼び起こす誌面づくりに励んでいただきたいと期待しています。



ワコレール山本通アヴァンツィオ
設計監理 (株)瀬戸本淳建築研究室
施工 鹿島建設(株)

神戸に「街の財産」を築こう

和田憲昌 和田興産(株) 代表取締役



弊社が掲げます「100年住宅」を考えますとき、マンションは街の景観を形成していく「財産」であると確信しております。月刊神戸っ子も500号を節目に、神戸のタウン誌として、さらに市民から愛される『街の財産』となることを期待いたします。

マンション情報ステーション 「ワコレール情報館」

豊富に！自由に！快適に！

神戸市内マンション供給棟数実績No.1、ワコレーリーズの全物件情報が、自由に、気軽にご覧いただけます。豊富な情報の中から、ご希望や条件にぴったりの物件をご紹介。

新発光 風格を醸し、洗練を極める、永住の邸。



ワコレール芦屋翠ヶ丘

「ワコレール芦屋翠ヶ丘」 モデルルームグランドOPEN

お問い合わせは「ワコレール情報館」まで

0120-088-850

受付時間 10時~18時(土曜日・日曜日・祝日は17時まで)

ワコレールの販売会社へ向かって「ワコレール情報館」

0120-078-250

受付時間 10時~18時(土曜日・日曜日・祝日は17時まで)

FreeDial

ホームページ http://www.wadakohsan.co.jp



新しい真珠、
新しいファッションを神戸から

田崎 俊作 田崎真珠株式会社 代表取締役社長
神戸ファッション協会会長



世界の真珠基地であり、ファッション都市でもある神戸で、
私たちと共に歩んだ月刊神戸っ子が、500号を迎えることは
大変喜ばしいかぎりです。さらなる飛躍を共に…

Supremacy of TASAKI BRIDAL



田崎真珠ギャラリー (078)303-7667

神戸ポートピア店 (078)302-1560

三宮センター街東店 (078)334-0281

三宮センター街西店 (078)391-4085

タサキSOL店 (078)230-3302


TASAKI SHINJU

<http://www.tasaki.co.jp>

お客様サービス窓口 ☎ 0120-111-446

地域とともに生きる

大月 京一 株式会社大月真珠 代表取締役

「月刊神戸っ子」創刊500号記念おめでとうございます。地域とともに生きハイカラな街神戸を代表するタウン誌として今日までのご功績を称えたいと思います。真珠産業も地域を代表する地場産業として、神戸で育ってきました。今後も地域の発展に寄与できるよう努めます。



Ajola

OTSUKI PEARL

KOBE / 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-4-1 株式会社大月真珠 TEL (078) 303-2111

PEARL & JEWELRY SHOP / 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目新神戸オリエンタルホテル4F 株式会社大月真珠 モントリー TEL (078) 272-4741

ホスピタリティに期待

東村 衛 株式会社神戸サンセンター・プラザ代表取締役副社長

神戸の中心である三宮センター街や、神戸サンセンターブラザは“ホスピタリティ”を充分に發揮し、「神戸の人は親切で優しいからまた神戸に」と思っていただけのようなまちであります。神戸の道しるべ月刊神戸っ子のホスピタリティに期待します。



サンセンタープラザ 駐車場

さんプラザ・センター・プラザ・センター・プラザ西館及び三宮周辺でのお買い物の際は、大変便利なサンセンター・プラザ駐車場をご利用下さい。

駐車料金 30分 250円

お問い合わせ先 神戸市中央区三宮町1-9-1
サンセンターブラザ駐車場管理事務所
TEL. (078) 332-3084

さんフラセ

セントラーフラサ

セントラーフラサ西館

本戸(三宮)

初心にもどって共に

八木 美彩代 株式会社美容室エリザベス代表取締役社長

神戸っ子さん、祝500号記念おめでとうございます。今年、当社は55周年を迎えます。当社の創業記念パーティーも何度かのせていただきました。景気の良い時、悪い時を、乗り越えて今日まで来られたと思います。初心にもどって共に頑張って行きたいと思います。



華やかに愛らしく

花嫁の晴れ姿

HAIR & FACE *Elizabeth*

美容室エリザベス

本店 神戸市中央区三宮町2丁目6-4 TEL.078-331-8894
住吉店 神戸市東灘区住吉本町2丁目10-42 TEL.078-851-6388

花と緑の文化を

和久 克明 財団法人 淡路花博記念事業協会 理事長



月刊神戸っ子500号記念おめでとうございます。花と緑あふれる、淡路島。春の訪れとともに、全島が花開きます。2003年3月21日から5月25日までは、「淡路花祭2003」を開催。春から初夏へかけて自然の魅力がいっぱいの淡路島へ皆様のお越しをお待ちしております。

淡路花祭2003



…イベント…

オランダ チューリップショー
プロムナードガーデン、花木林苑 4/12～5/5

スプリング バルブガーデンショー
奇跡の星の植物館 3/21～4/11

シーポルトの庭—果たせなかつた夢の庭—
奇跡の星の植物館 4/12～5/25

“オランダの花文化”紹介パネル展
展望テラス 3/21～5/25



国際ランドスケープ&ガーデニングショー(コンペ)
プロムナードガーデン 4/12～5/25

淡路島明石海峡公園 春の花祭り 2003
淡路島明石海峡公園 4/19～5/5

はな舞台2003-いけばなインスタレーション IN 淡路夢舞台
淡路夢舞台 3/30～4/13

あわじ花さじき 菜の花まつり
あわじ花さじき 3/21～5/5

■開催期間 2003年3月21日(金・祝)～5月25日(日) 66日間

■会場 淡路夢舞台、淡路島明石海峡公園

サテライト会場:あわじ花さじき、兵庫県立淡路島公園、
兵庫県立淡路景観園芸学校

■お問い合わせ (財)淡路花博記念事業協会

TEL. 0799-75-2100 <http://www.awajihanahaku.or.jp>

より広い世界的視野で グローバル神戸に

■新春座談会

■出席者

矢田立郎 神戸市長

竹市雅俊

理化学研究所

発生・再生科学総合研究センター長

加藤隆久

生田神社宮司・神戸芸術文化会議議長

寺本 督

株式会社 淡路屋

常務取締役

司会／小泉美喜子（本誌編集長）

□歴史が証明する。神戸は甦るまち

小泉 あけましておめでとうございます。2002年
を振り返り、2003年の新たな思いと決意をお話し
下さい。

矢田 昨年はあつという間に過ぎ去った感のある一年
でした。この一年、私が常にもつとも大切に考えてき
たのは、ひとり一人のまちをつくっていきたいとい



矢田立郎 神戸市長



寺本 督さん

加藤 隆久さん

竹市 雅俊さん

ことでした。そしてみなさんといっしょに考えるとうことをテーマにやつてきましたが、まだ充分ではなかつたように思います。私にとって昨年は種まきの段階だったと言えます。広範囲にわたる多くの人に出会い、いろいろな話をし、意見を聞いてきました。そついたことは、今年もつづけていきたいと思っています。いま日本の国全体の経済の悪さが、財政に影響を与えています。市民のくらしもそうです。市民生活の基盤づくりは、行政がやらなければなりません。舵取りが問われる時代だと思います。

竹市 僕は名古屋で25年、京都で33年暮らしてきました。そして昨年、神戸で生活することとなるまでに、神戸には数回しか訪れたことがなかつたのです。しかし以前から、いざ次に住む理想の土地はどこだろうと考えたときに、真っ先に浮かんだのが神戸だったのです。僕にとって神戸は、ずっと外国のような印象がありました。まちのいろを想像するとき、京都は全体的に曇っているようなイメージがあるのですが、神戸はとにかく明るい感じがします。それでもいざ神戸で暮らすことが決まり、最初のうちは不安もありました。京都では北の方に住んでいたのですが、毎日鴨川べりを通っていました。あのしつとりとした感じが好きだったのです。いちばん長く生活してきたのが京都で、京都を離れるのには、かなり抵抗がありました。いま住吉に住んでいるのですが、正直言つて、これほど快適なまちはないと思ってますよ（笑）。

加藤 神戸は本当に素晴らしいまちなのです。ところがこれほど災害の多いまちもほかにありません。源平の合戦の時代から、阪神大水害などもありました。昭和20年6月の大空襲では生田神社も焼失しました。戦災から立ち上がり、美しいまちをつくりあげたと思ったら、次は震災です。生田神社は全国でもいちばん災害に遭っている神社だと思います。阪神淡路大震災では、ついに拝殿が落ちてしまいました。しかしこれだ

けの災害に遭っているにもかかわらず、神戸は何度も復興を遂げてきたのです。神戸は甦るまちなのです。それはこれまでの歴史が証明してくれています。

寺本 昨年は神戸空港開港に向けて、大きく歩みを進めた1年でした。工事も順調に進んでいます。空港の整備に関して言うと、ポートアイランドや六甲アイランドなどをつくってきた神戸には、埋め立て地をつくるノウハウがありました。ですからもともと神戸は、空港をつくる技術と経験を持っていました。以前に韓国の総領事が「神戸は大変良い街だが『のぞみ』が通過してしまって、空港もないのが残念だ」と言つていました。新幹線の問題はすでに解決しています。とはいよいよ、空港の完成を待つのみですね。

□ 神戸の文化基盤とそれを生かすまちづくり

加藤 昨年の11月に開かれた中央教育審議会では、国や郷土を愛する価値観を育む教育が、いまもつとも求められているという意見が出ていました。つまりいまの子供たちに必要なのは心の教育なのです。神戸もそうです。以前に月刊神戸っ子さんで提言していた、文学館の設立もぜひ実現してほしいですね。神戸出身、あるいは神戸にゆかりのある作家は、それこそ数え切れないほどいます。数々の小説の舞台にもなってきました。兵庫県立美術館に、インターネットによるバーチャルな展示館はできたようですが、もつとしつかりとした場所がほしいですね。いま明治から昭和にかけて織りなした、神戸の文学をパズルのように組み合わせてまとめる作業をしているのですが、21世紀の神戸らしさを考えるとき、何かしらのヒントになるはずだ

矢田 神戸にはもともと、市民に根付いた文化基盤というものがあります。だからこそ神戸ジャズストリートや神戸まつり、国際フルートコンクールやシヤンソンコンクールなど、市民の間からやろうという声が挙

がり、開催されたものが、すべて大成功を納めています。新開地のアートビレッジも、いまや大変な注目を集めています。文化の発展に必要なのは、行政が用意したものではなく、市民に根付いた文化基盤です。実際に人々の活躍が大事なのですから。そのなかからこそ、人が育つていくのです。例えば神戸のまちは多くの人が集います。旧居留地もまち全体がひとつ文化財産なのです。そこだからこそ、昨年開催されたヴエルサイユ展なども大盛況だったのだと思います。

加藤 ジャズストリートにしても、ルミナリエにしても、神戸以外のまちでは、決して成功はしないと思いますよ。神戸にはそれを支える基盤と、ほかの土地にはないまちの美しさと機能があるのです。

竹市 我々の研究所がスタートしたのは、昨年の4月からなのです。僕自身は、シンボジウムなどもあり、春から夏にかけては本当に忙しく過ぎていきました。年末辺りからやっと落ち着いてきて、自分も神戸市民だと思えるようになってきたのです（笑）。神戸はとにかくまちがきれいですね。研究所はポートアイランドにあるのですが、誰も通らない道路の真ん中でも花壇があり、いつもきれいに整備されているのです。まちをきれいにすることには、本当に気をついているのだなと思い、感心しました。まち全体で、きれいなまち神戸をつくろうという意識が高いのだと思います。

□ 神戸空港開港に向けて10年、50年のスパンで考える

矢田 最近、行政に求められているものは、福祉・教育・環境だとよく言われます。もちろんそれらは重要なことではあります。しかし地域の活性化は、経済の活性性にかかっており、いまもつとも求められている中心的な課題です。近年の中国の急速な発展は、スピードと決断の速さにあります。日本にもそのスピード感が



なければ、いつか中国にすべてを持つていかれることでしょう。最近の私自身の認識では、これまでの概念がかなり変わってきているよう思うのです。神戸空港の問題も、医療産業都市構想と関連して、神戸に空港は必要だという意見が増えてきました。益々、市民と一緒にやつていこうと実感を新たにしています。

寺本 空港のことを考えると、10年、50年のスパンで、どれだけ市民に役立つかということを考えなくてはなりません。私は、旅行が好きで、これまで約90カ国ほど訪れていますが、国際化時代においてビジネスや観光で神戸を売り込むには、たとえ国内空港でも、

やはり、「神戸」という地名を冠した空港がなくてはならないと言うことを痛感しています。そして、実際にどう使うかと言うことですが、パリやロンドンなどでは3~4つの空港があります。そして、市内のシティーエアポートは、国内や、近距離国際便などの旅客で、たいそう賑わっています。そういう意味で、都心から近く、アクセスの便利な神戸空港は、かなり利便性が高くなるはずです。欧米では、定期便と同じくらいの数のチャーター便や格安航空便が毎日でいます

が、神戸空港が、それらの母港になることができる、様々な路線、様々な利用方法が広がってくるはずです。また、新幹線と東京や博多間のお客さんを取り合って競争しても、神戸に来るお客様が増えるわけではないので意味がありません。それよりは、これまで神戸に訪れるのが不便だった東北や南九州などの地方に路線を充実させて、来神者をどんどん増やして、街の活性化を図っていくべきだと思います。

矢田 すでにエアポートセールスははじまっています。空港にとつてもっと重要なのは、新興航空会社なども含めたエアラインとの関係です。これまで神戸からは遠い土地だったところとのラインを、少しでも増やしていかなければなりません。

寺本 神戸市内には、昔から飛行機製造関連の会社が多いですね。そういう地元の企業とどう絡んでいくかも、重要なポイントとなるでしょう。製造やメンテナンス作業の現場を、空港敷地内につくつてもらうなどして、地元の企業に入つてもらうことができればいいのですが。

矢田 そうですね。ただ三菱重工や川崎重工などの大企業は、すでに専用の工場を持つています。これから新しく空港内に移つてもらうのは、少し難しいかも知れませんね。そのあたりは、今後さらに考えていかなければならぬ課題のひとつです。しかし日本の企業だけを視野に入れているわけではありません。サービ

方面、製造など、どこの会社が何ができるのか、これからもつとりサーサーしていかなければならないでしょ。あと国際線になる予定はあるのかとよく問われますが、それは使う人のニーズで変化していくべきだと思います。

寺本 先日、台湾人の友人が、100人でチャーター便を貸し切って、名古屋の病院に検査のために来ていたのです。医療産業都市構想を打ち出している神戸の空港こそ、そのような利用をしてほしいと思いましたね。

竹市 国際線の問題はすぐにどうなるという問題ではありませんが、いちばん近い空港から、すぐに海外に行けるに越したことはありません。ところで日本の研究システムはよく保守的だと言われます。だからこそ組織そのものから、海外の研究所に負けないものをつくりたいと思います。いまの研究所をスタートしました。現在、うちの研究所は若い人が中心で平均年齢も40歳前後です。国際的な研究所である以上、神戸の研究所と言うよりは、世界のなかのこの研究所と言える場所でありたいのです。生命科学という分野自体が、グローバルなものですから。日本を意識するよりは、より広い視野で世界を意識してみたいですね。

□ 2003年の抱負と神戸の未来に託すもの

矢田 まず今年の神戸に望むことは、まち自体が生き生きとし、元気になってほしいということです。簡単にはいうと、「人が生き、人が育ち、人が集うまち」です。不況などもありますが、「しんどい」と言つても何もはじまりません。何事もチャンスだと思い、向かっていくことが大切なのです。それと、常にまちを美しく保ちたいですね。最近まちの落書き、チラシ、のぼりなどが目立つようになり、かなり雑念としているように思えます。これらに対し、徹底した取り組みをしていかなければならぬと思っています。まちが美しくなければ、神戸を訪れた人たちの、神戸のまち

に対する感銘が薄れてしまいます。市民みんなで美しくしようという取り組みが必要なのです。私個人的には、最近毎朝のジョギングのときには、ゴミ袋を持つて走っているのですよ（笑）。いつものコースを一回りすると、すぐにいっぱいになってしまいますね。

竹市 昨年は我々の研究所も完成し、全体のインフラが整備されたと思います。医療産業都市構想に向けて、これからどんどん神戸に科学者が集まつてくるでしょう。経済から文化、そして学問へと向かっていきます。神戸における我々の役割は、大学間ネットワークなど、学問のネットワークを広げることにあると思っています。これには神戸大学の先生方も、かなり楽しみにしてくれています。我々としても、大学との交流はどんどん進めていきたいですね。また研究所としては、市民向けの公開交流会も行っているのですが、アンケートではぜひこれからも続けてほしいという声が多かつたのです。我々が目指すべきなのは、閉ざされた場所ではなく、開かれた研究所であるべきだと思っています。

加藤 神を愛する心を養うときに、まず大切なのは食と健康です。医療産業都市構想とは健康な都市を目指すことであり、健康にとつとも大切なのは食です。ですから神戸の食を総合的に研究していくほしい。神戸は食文化が素晴らしいまちですから。

寺本 市民生活を演劇で例えるなら、ステージをつくるのは行政の役割です。そこで何を演じるかは、市民ひとり一人が考えていかなければならぬことです。これから神戸と、神戸での生活をみんなが考えなければ、これほど素晴らしいことはないと思います。

矢田 2003年、食と健康、それに福祉がもつとも重要な課題ですね。神戸空港の完成、医療産業都市構想に向けて、いきいきとした元気なまちづくりを目指したいと思います。

小泉 本日はどうもありがとうございました。

六甲山に向かって!ポートアイランドでスカッとゴルフ一発!



トロピカルツリーが囲む南国のリゾート感覚

臨場感あふれる230ヤードのフェアウェイ設計

多彩なアプローチターゲット

7段オートティーアップシステム

これが
21世紀の
ゴルフレンジ

ヘッドスピード表示システム

吉村忠義率いるチーム・ヨシムラによるゴルフレッスン

シャフト交換と用具販売の「ヨシムラ直営工房&SHOP」

食事やドリンクが楽しめる「カフェ・ブルートミー」

■営業時間

平 日

土・日・祝日

早朝営業

AM 6:00オープン

※月曜日のみ(祭日は除く)AM10:00より

AM 6:00オープン

フロント営業

AM 9:00～PM 10:00

※月曜日のみAM10:00より

但し月曜日が祝日の場合はAM8:00より

AM 8:00～PM 10:00

深夜営業

月～木 及び 日・祝日
PM 10:00～深夜 2:00

※月曜日のみAM10:00より

但し月曜日が祝日の場合はAM8:00より

PM 10:00～翌朝 4:30

※1～3月の冬期は深夜2:00まで



ポートアイランド
ゴルフ倶楽部

- JR三島駅より約8分
- JR神戸駅より約8分
- 西宮戎前インターにより約20分
- 六甲アイランドインターにより約20分

※車両洗浄時でない時の所要時間



ポートアイランドゴルフ倶楽部

〒650-0045 神戸市中央区港島9丁目2番地の5 TEL (078) 303-5337
FAX (078) 303-5381